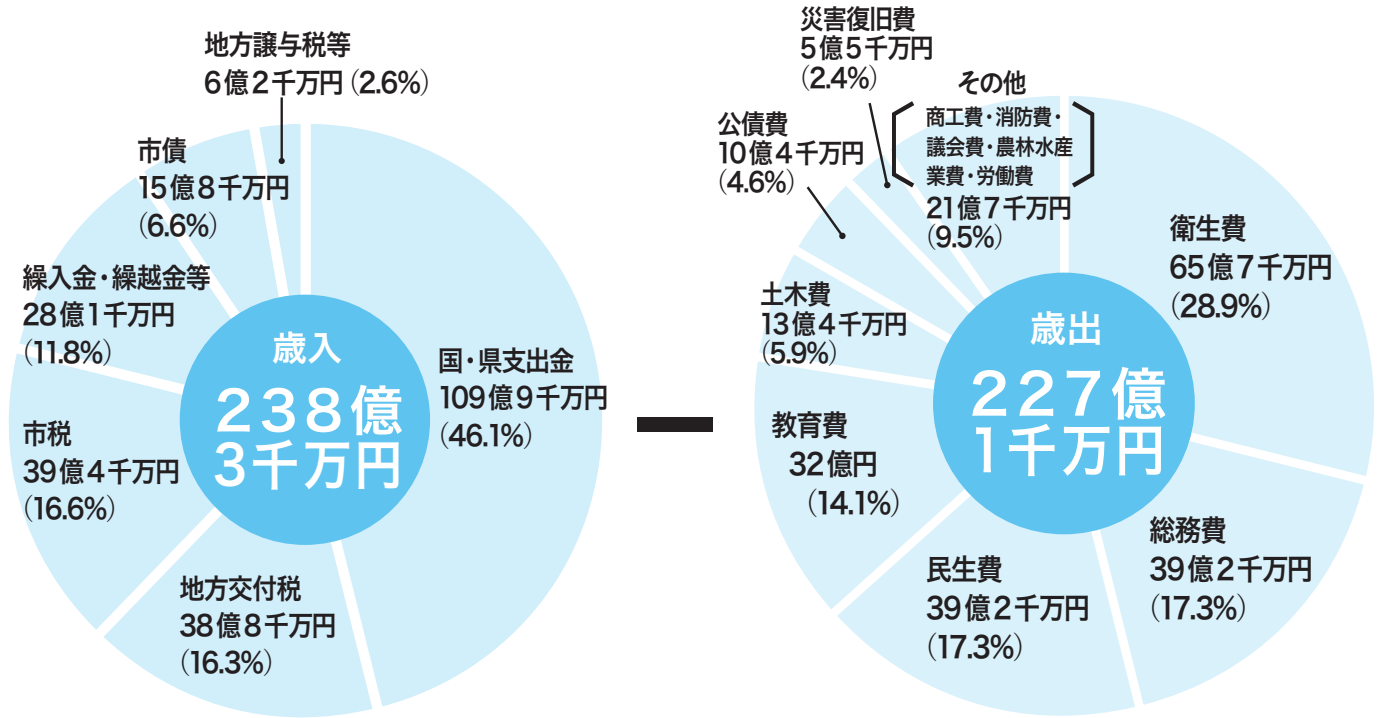


# 決算状況の公表

本宮市の平成26年度各会計の決算がまとまりました。皆さんから納めていただいた税金がどのように使われたのかをお知らせします。

## ■歳入歳出



# = 11億2千万円

### 一般会計決算の状況

平成26年度一般会計の決算額は、歳入総額が238億2,720万円、歳出総額が227億1,319万円になりました。

歳入から歳出を差引いた収支は11億1,401万円。そこから27年度へ繰り越した事業の財源3億2,541万円を差し引いた実質収支額は、7億8,860万円となりました。黒字決算になりました。

予算の執行に当たっては、本宮市自主的財政健全化計画を遵守し、限られた財源の中で重点的・効率的な配分を行い、健全な財政運営に努めました。

### 問 財政課 財政係

☎ 24-5305

## MEMO

### ◎用語の解説

#### 【歳入】

・国・県支出金：事務・事業に対して国・県から交付されたお金です。

・地方交付税：市の財政力に応じて国から交付されたお金です。

・市税：市民税、固定資産税、軽自動車税など市民の皆さんが納めた税金です。

・繰入金：積立金の取り崩し金や他の会計から繰り入れたお金です。

・繰越金：一会計年度から次の会計年度に持ち越したお金です。

・市債：事業実施のために借りたお金です。

・地方譲与税等：地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金など国や県がいったん集めたものが、交付金として

分配されたお金です。

# 特別会計・企業会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	34億2,859万円	31億6,900万円
後期高齢者医療事業	2億7,029万円	2億6,684万円
介護保険事業	21億7,387万円	21億2,092万円
公共下水道事業	8億4,832万円	7億9,119万円
農業集落排水事業	5,760万円	4,940万円
工業用地造成事業	7億4,787万円	7億4,690万円
工業用地資産運用事業	1億1,462万円	1億1,462万円
阿武隈川左岸築堤用地取得事業	6,434万円	6,434万円

## 企業会計（水道事業）の決算

経常的な収支		投資的な収支	
収入	10億7,080万円	収入	1億4,061万円
支出	9億2,956万円	支出	5億8,253万円

# 市債・債務負担行為残高

市の借金

## 現在高一覧

	元金	利子	合計
一般会計	150億4,067万円	9億2,733万円	159億6,800万円
市債※	148億2,865万円	9億2,248万円	157億5,113万円
債務負担行為	2億1,202万円	485万円	2億1,687万円
公共下水道事業	45億8,259万円	6億1,424万円	51億9,683万円
市債	45億8,259万円	6億1,424万円	51億9,683万円
農業集落排水事業	2億8,992万円	4,826万円	3億3,818万円
市債	2億8,992万円	4,826万円	3億3,818万円
工業用地造成事業	38億9,186万円	3億1,872万円	42億1,058万円
債務負担行為	38億9,186万円	3億1,872万円	42億1,058万円
水道事業	32億2,883万円	6億753万円	38億3,636万円
市債	32億2,883万円	6億753万円	38億3,636万円

※住宅除染に係る債務負担行為200億円の財源は、全額県支出金として歳入されるため、含まれていません。

※地方交付税の代替措置である臨時財政対策債が、一般会計の市債のうち約4割を占めています。

## 市債残高

**251億  
2千万円**

## 債務負担行為残高

**44億  
3千万円**

※住宅除染に係る債務負担行為200億円の財源は、全額県支出金として歳入されるため、含まれていません。

**295億  
5千万円**

(昨年は302億7千万円)

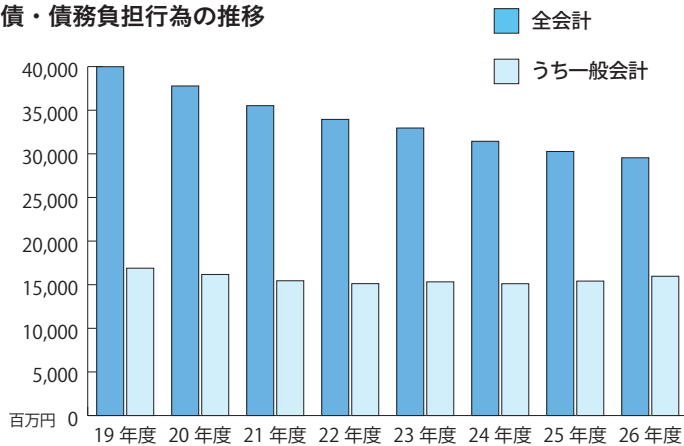
一人あたり



**= 96万円**

(昨年は98万円)

## 市債・債務負担行為の推移



計画的な借入・返済を  
計画的な市債の発行と債務の償還により、平成19年度には399億円あった借金が、平成26年度末までに103億5,000万円減少し、295億5,000万円となりました。今後も計画を遵守し、適正な市債の発行、償還を行っていきます。

## 【歳出】

- ・衛生費：ごみ処理や生活環境を守るための経費です。(住宅除染含む)
- ・総務費：一般管理費、徴税費、選挙費など市政を進めるために必要な一般的な経費です。
- ・民生費：高齢者福祉、保育所運営、生活保護費など福祉のための経費です。
- ・教育費：学校教育・社会教育のための経費です。
- ・土木費：道路橋りょう、公園整備のための経費です。
- ・公債費：市が借りているお金の返済のための経費です。
- ・災害復旧費：公共施設や農業用施設を修復するための経費です。
- ・その他：商工、観光振興や消防団運営、防災対策などのための経費です。

## ■基金残高

基金名	平成26年度末残高
財政調整基金	13億3,416万円
長期避難者生活拠点形成基金	20億2,512万円
教育施設等整備事業基金	5億1,653万円
地域福祉基金	4億342万円
震災・原子力災害復興基金	2億731万円
減債基金	1億7,641万円
篤志奨学資金給与基金	4,850万円
その他特定目的基金	4,740万円
合計	47億5,885万円

基金残高約47億円

基金には、災害が発生したり、経済の急激な変化で税収が減ったりなどといった不測の事態に備えて積み立てている財政調整基金や、教育施設等の耐震化事業など特定の目的のために積み立てている基金があります。

## ■健全化項目をクリア

	解説	26年度比率(※2)	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	一般会計に赤字額がどれくらいあるかを表します。	- (-)	13.75%	20.00%
②連結実質赤字比率	一般会計と特別会計・公営企業会計のすべての会計の赤字額がどれくらいあるかを表します。	- (-)	18.75%	30.00%
③実質公債費比率	市の財政運営に影響するすべての会計の借入金の返済に充てた経費がどれくらいあるかを表します。	12.8 (14.0)	25.0%	35.0%
④将来負担比率	市の財政運営に影響するすべての会計で将来に負担が見込まれる経費がどれくらいあるかを表します。	132.1 (134.5)	350%	

※1) 実質赤字比率、連結実質赤字比率は赤字が生じていないため、比率が算出されず「-」で表示しています

※2) ( )内は、昨年25年度比率です

### 健全化項目をオールクリア

単年度の収支状況だけでは、財政がどのような状態にあるかわかりません。そこで、市の財政運営に関わるすべての要因を含めて判断するため4つの指標を算出します。

4つの指標が基準値を上回る場合は、早期健全化団体(財政が危ない状態)、財政再生団体(財政が破たんした状態)となります。早期健全化団体になると財政健全化計画を策定し、計画に基づいて健全化を図ることになります。また、財政再生団体になると、再生計画の策定や市債などに対して国の管理下におかれるため、自主的な財政運営ができなくなります。

市では、平成26年度決算では4つの指標とも基準を下回りました。今後も事業の効率化を図り、できる限り節約して健全な財政運営をします。

### MEMO

#### ◎その他の財政指標

・経常収支比率：市税や地方交付税などの財源が経常的経費にどれだけ使われているかを示す指標。値が低いほど、政策的に使えるお金が多くあることを示します。

(本宮市) 89.4%

・財政力指数：標準的な行政サービスの提供に必要な支出に対する市税収入などの割合。値が1に近いほど財政力が強いこととなります。1以上の自治体は、地方交付税が交付されない「不交付団体」と呼ばれます。

(本宮市) 0.61

県内13市平均 0.55

・義務的経費比率：歳出全体のうち、人件費、公債費、扶助費など必ず必要とする経費の割合。割合が小さいほど財政の弾力性があります。

(本宮市) 21.3%

県内13市平均 27.2%

# 26年度の事業

## 東日本大震災・原子力災害からの復旧・復興へ向けて



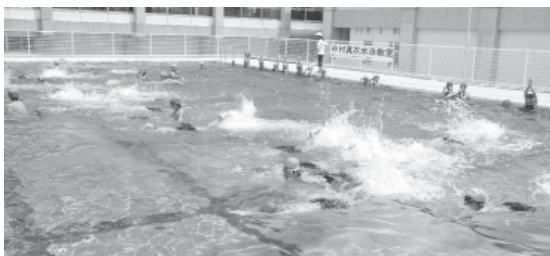
▲ウィリアム王子も訪れた屋外あそび場

- ・住宅除染事業…54億6,649万円
- ・農地除染事業…9,008万円
- ・小中学校空調設備整備事業  
……5億164万円
- ・記念樹の杜 屋外あそび場整備事業  
……3億453万円
- ・公園・小学校・幼稚園遊具更新事業  
……2億4,477万円
- ・復興公営住宅整備事業  
……1億6,859万円
- ・屋内・屋外あそび場管理・運営事業  
……4,306万円



▲市内の全小中学校に設置したエアコン

## 豊かな心と創造性あふれる人材育成のまちづくり



▲完成した子ども屋外プールで泳ぐ児童

- ・本宮第一中学校耐震化事業  
……4億6,204万円
- ・子ども屋外プール施設整備事業…3億2,414万円
- ・岩根小学校施設整備事業  
……2億8,570万円
- ・五百川小学校耐震化事業  
……9,072万円

## 市民と行政の協働による自立したまちづくり

- ・行政区支援事業…3,250万円
- ・社会保障番号制度整備  
……687万円
- ・集会所整備・管理支援事業  
……664万円

## 共に支えあう やさしいまちづくり

- ・児童手当支給事業  
……5億4,383万円
- ・子ども医療費助成事業  
……1億5,604万円
- ・予防接種事業  
……7,241万円

## 活力あるふるさとのまちづくり

- ・企業立地推進事業  
……7,644万円
- ・農業用道水路整備事業  
……3,454万円
- ・商工業振興団体支援事業  
……2,029万円

## 安全・安心な環境のまちづくり

- ・集中豪雨災害復旧事業  
……5億4,392万円
- ・堀切・赤坂線整備事業  
……2億4,279万円
- ・公共施設再生可能エネルギー導入事業…5,945万円
- ・白沢総合支所周辺道路改良事業…4,460万円
- ・消防屯所建設事業  
……3,003万円



▲平成26年4月に完成した本宮第2分団屯所